さくら新聞

令和元年12月1日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町7－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

今月の漢字

歳

暮歳（ボサイ＝12月の別名）と歳の瀬にちなんで

～笑顔ｄｅ共育て～

月の主題
楽しい師走

今月の保育のねらい
・みんなで楽しい集いを準備し参加する
・師走の雰囲気を楽しむ

歳の瀬を迎えます

立冬が過ぎ、日照時間や温度変化等の自然環境にも微妙な変化が見られる時期になり、日の入りも早くなりましたので、夕方になると気持ちがあわただしく感じられます。

わたくしたちの周りは、シクラメンやポインセチアで彩られ、一斉にクリスマスの飾りつけで賑わい、子どもたちは、1日から始まるアドベントカレンダーを楽しみにすることでしょう。いやおうなしに雰囲気は歳の瀬を迎えることになりそうです。

ありがとうございました

新たな令和の年も師走になりました。保護者の皆様には今年もご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げますとともに、来年も何卒よろしくお願いいたします。

大きくなったね会

今年度も八ヶ月が経過しました。一人ひとり子どもたちの成長を保護者の皆様とともに共感できることを願って『大きくなったね会』を実施します。

何かを見せようとすることが目的ではありませんので、子どもたちに過度の負担を強いることなく、日々の保育の中で身につけた力や、成長した姿を表現して、楽しく参加できることを目標にしています。

3クラスとも、友だちと一緒になって「やってみたい」「応援し合いたい」「表現したい」などの心情を届けられるように、各クラスの担任は子どもたちとともに取り組んでいます。

どうぞ、あたたかいまなざしで見守っていただけますようよろしくお願いいたします。

幼児教育と保育で大切にしたいこと
～遊びは学びを追求…！～

11月の後半、北欧（スウェーデン。フィンランド）の幼児教育と保育を見学してきました。就学前教育の先進国として注目を集めているスウェーデン。未来を担う存在である子どもの教育に特に力を注いでいます。

スウェーデンには、プリスクール（学校に入る前の1年間）がありますが、学校のような学びの場ではありません。

あそびから学ぶということに焦点をあて、すべての子どもが平等にスタートを切れること、学びが持続可能な場であることを重視した施設です。人に対してオープンであることや、尊重し合うこと、責任感を持つこと、他者の立場に共感すること、道徳的問題を発見し向き合うこと、すべての人が平等であることなどがプリスクールで子どもたちが培うべき大切な力だと考えられています。

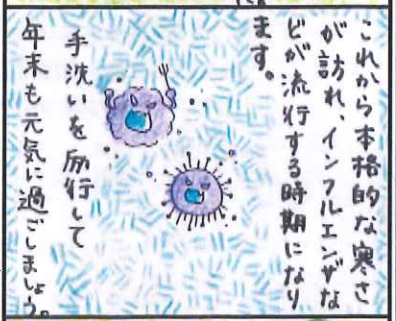
また、「児童の権利に関する条約」に基づき、2018年に子どもの権利を法律化しました。子どもたちの人権を守るということは、子どもの立場で、何がいちばん大事なのか』ということだと強調されていました。

これらのことは、わたくしたちも常に意識していることで、『保育所保育指針』にも示されている『子どもの最善の利益』を考慮した保育と同様であると感じました。

遊びをとおして学ぶことや、それらを十分保障するためには人的、物的な保育環境が必須であることも、わたくしたちが大切にしていることと共通していました。

（※　もう少しお伝えしたいことがあります。続きは次月で！）

ヘルシンキの保育所



令和元年 12月 28日（土）保育終了日
令和２年　1月　4日（土）保育開始日

12月　行事予定

日	曜日	内　容
6	金	大きくなったね会
9	月	身体計測（幼児）
10	火	おはなし会 身体計測（乳児）
12	木	歯科健診（全園児） アートくらぶ（4歳児）
13	金	おじいちゃんおばあちゃん お招き会
17	火	年末お楽しみ会
19	木	アートくらぶ（4・5歳児） 避難訓練
20	金	力士とのふれあい
21	土	園舎清掃
26	木	もちつき会

12・19日⇒絵本の貸し出し
11・18・26日⇒さくらんぼくらぶ
4・25日⇒家庭的保育者受託児のふれあいランチ
11日⇒さくらんぼくらぶふれあいランチ
6・26日⇒ニコニコフォト写真撮影日